

simple mind の使用方法（基本操作）に関する指導プログラム

作成日：12月1日

1. 授業内容

e-pat を用いて教科書の音読の練習を行なったのちに，simple mind を用いて物語文の登場人物に関する内容をまとめる（発展1）

2. 目標

- ・ e-pat を用いて自分で音読の練習ができる
- ・ simple mind の基本的な使い方を学習し，文字の入力や新たな枝の付け方をできるようにする。

3. 使用教材・機材

- ・ 教材

国語の学習している単元

- ・ 機材

iPad (e-Pat, simple mind)

4. 内容

- ・ e-pat で音読の練習を行う
- ・ split view の使い方を確認する。(simple mind と UD ブラウザ)
- ・ simple mind を用いて登場人物間の関係を結ぶ。
- ・ まとめた内容を説明することができるようにする。

5. 内容例（11月10日実施）

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 3分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】 ・ 学習している単元の確認をする。 【教材】 e-pat	・ 本時の内容を視覚的（聴覚的）に示す。
2 5分	【内容】 e-pat の使い方の確認 ・ e-pat の音声を追いかけるように本文を音読する。	【方法・手段】 ・ 3分間時間を設定して音読の練習を行う。 ・ 音読しているときの様子を見て読み上げの速さの設定方法などを適宜確認する。（設定した場合は，一度試すように声を掛ける。）	・ 時間の目安がわかるように画面にタイマーを表示する。

3 2分	【内容】 ・ split view の使い方を確認する。	【方法・手段】 ・ 一画面に二つのアプリを起動する方法である split view の使い方を確認する。	・ 作業する方のアプリ（この授業では simple mind）を利き手側に持っていくと作業しやすいことを使える。
4 8分	【内容】 ・ simple mind を使用して登場人物の情報を中心にまとめる。	【内容】 ・ 登場人物についての情報を本文の言葉を用いて追加する。 ・ 登場人物間の出来事についてのつながりを線で繋いで関係性を表す（simplemind の+のボタンから繋ぎたい枠に線を繋ぐ） 【教材】 e-pat, simple mind	・ 児童が自分から追加しようとする際には、積極的に追加するように促す。 ・ 長い文章をキーボードで打ち込む際には、文節を意識して核的ボタンを用いて変換するように伝える。
5	【内容】 ・ まとめた内容を元に説明をする。	【内容】 ・ simplemind の内容をもとに内容を説明する。 【教材】 e-pat, simple mind	・ 不足がある場合は、質問をし、再度 simplemind を見るように促す。

e-pat を用いた音読の方法の確認と simple mind の使用方法に関する指導プログラム

作成日：11月23日

1. 授業内容

e-pat を用いて教科書の音読の練習を行なったのちに，simple mind を用いて内容のまとめを行う。

2. 目標

- ・ e-pat を用いて自分で音読の練習ができる。
- ・ simple mind の基本的な使い方を学習し，文字の入力や新たな枝の付け方をできるようにする。

3. 使用教材・機材

- ・教材

国語の学習している単元

- ・機材

iPad (e-Pat, simple mind)

4. 内容

- ・ e-pat で音読の練習を行う
- ・ split view の使い方を確認する。(simple mind と UD ブラウザ)
- ・ UDB の書き込み機能を用いて線を引く方法・ペンの色を変える方法を確認する。
- ・ simple mind を用いて段落の内容の整理を行う。

5. 内容例 (11月10日実施)

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 3分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】 ・学習している単元の確認をする。 【教材】 e-pat	・本時の内容を視覚的に示す。
2 5分	【内容】 e-pat の使い方の確認。 ・ e-pat の音声を聞いたのちに，一旦停止して本文を音読する。	【方法・手段】 ・ 3 分間時間を設定して音読の練習を行う。 ・ 音読しているときの様子を見て読み上げの速さの設定方法などを適宜確認する。(設定した場合は，一度試すように声を	・時間の目安がわかるように画面にタイマーを表示する。

		掛ける。)	
3 2分	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ split view の使い方を確認する。 	<p>【方法・手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一画面に二つのアプリを起動する方法である split view の使い方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業する方のアプリ（この授業では simple mind）を利き手側に持っていくと作業しやすいことを使える。
4 10分	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ simple mind を使用して段落の内容のまとめ方を確認する。 	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初めに、タイトルを入力する。 ・ まとめる段落の場所を UDB で確認する。 <p>・ UDB に段落番号を書き込む（書き込みの機能・ペンの色変更の機能を使用）</p> <p>・ UDB の書き込み機能を用いて、simple mind にまとめる内容に線を引き、内容を把握しながらまとめる。</p> <p>・ simple mind にまとめる際は、文章の構成（質問や説明など）を枝につけてその後に内容の枝を加えてまとめる。</p> <p>【教材】</p> <p>e-pat, simple mind</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原本モードを確認することで、段落の位置を視覚的に確認しやすくなることを伝える。 ・ この際に、ペンの色を変えることで見やすくなることを伝える。 ・ e-pat で音読を確認したのちなので、原本モードでも読めるかを確認する。（原本モードは視覚的に位置の把握や書き込みができるため。） ・ 内容を確認する際には、文章の内容が質問なのか説明なのかを確認しながら進める。

simple mind の使用方法（基本操作）に関する指導プログラム

作成日：12月1日

1. 授業内容

e-pat を用いて教科書の音読の練習を行なったのちに， simple mind を用いて物語文の登場人物に関する内容をまとめる（導入）

2. 目標

- ・ e-pat を用いて自分で音読の練習ができる
- ・ simple mind の基本的な使い方を学習し，文字の入力や新たな枝の付け方をできるようにする。

3. 使用教材・機材

- ・教材

国語の学習している単元

- ・機材

iPad (e-Pat, simple mind)

4. 内容

- ・ e-pat で音読の練習を行う
- ・ split view の使い方を確認する。（simple mind と UD ブラウザ）
- ・ simple mind を用いて段落の内容の整理を行う。

5. 内容例（11月10日実施）

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 3分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】 ・学習している単元の確認をする。 【教材】 e-pat	・本時の内容を視覚的に示す。
2 5分	【内容】 e-pat の使い方の確認 ・ e-pat の音声を追いかけるように本文を音読する。	【方法・手段】 ・3分間時間を設定して音読の練習を行う。 ・音読しているときの様子を見て読み上げの速さの設定方法などを適宜確認する。（設定した場合は，一度試すように声を掛ける。）	・時間の目安がわかるように画面にタイマーを表示する。
3	【内容】	【方法・手段】	・作業する方のアプ

別添資料 18

2分	<ul style="list-style-type: none"> split view の使い方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一画面に二つのアプリを起動する方法である split view の使い方を確認する。 	<p>リ（この授業では simple mind）を利き手側に持っていくと作業しやすいことを使える。</p>
4 10分	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> Simple mind にタイトルを入力する。 	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めに、タイトルを入力する。 <p>【教材】</p> <p>e-pat, simple mind</p>	

simple mind の使用方法（基本操作）に関する指導プログラム

作成日：12月1日

1. 授業内容

e-pat を用いて教科書の音読の練習を行なったのちに，simple mind を用いて物語文の登場人物に関する内容をまとめる（導入）

2. 目標

- ・ e-pat を用いて自分で音読の練習ができる
- ・ simple mind の基本的な使い方を学習し，文字の入力や新たな枝の付け方をできるようにする。

3. 使用教材・機材

- ・ 教材

国語の学習している単元

- ・ 機材

iPad (e-Pat, simple mind)

4. 内容

- ・ e-pat で音読の練習を行う
- ・ split view の使い方を確認する。(simple mind と UD ブラウザ)
- ・ simple mind を用いて段落の内容の整理を行う。

5. 内容例（11月10日実施）

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 3分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】 ・学習している単元の確認をする。 【教材】 e-pat	・本時の内容を視覚的に示す。
2 5分	【内容】 e-pat の使い方の確認 ・ e-pat の音声を追いかけるように本文を音読する。	【方法・手段】 ・ 3 分間時間を設定して音読の練習を行う。 ・ 音読しているときの様子を見て読み上げの速さの設定方法などを適宜確認する。（設定した場合は，一度試すように声を掛ける。）	・時間の目安がわかるように画面にタイマーを表示する。
3	【内容】	【方法・手段】	・作業する方のアプ

2分	<ul style="list-style-type: none"> ・ split view の使い方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一画面に二つのアプリを起動する方法である split view の使い方を確認する。 	<p>リ（この授業では simple mind）を利き手側に持っていくと作業しやすいことを使える。</p>
4 10分	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Simple mind にタイトルを入力する。 <p>↓</p> <p>※時間がある場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ simple mind を使用して登場人物の情報を中心にまとめる。 	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初めに、タイトルを入力する。 <p>※時間がある場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ e-pat で音声を聞いて登場人物に誰がいるのかを確認する。 ・ 登場人物をタイトルから線を出して追加する。 ・ 登場人物に関する情報をそれぞれの登場人物から線を出して追加する。 <p>【教材】</p> <p>e-pat, simple mind</p>	<p>※時間がある場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容を確認する際は、適宜 e-pat で音声を聞くように促す（わからない部分があったら自分から音声を再生できるように促すような声かけを行う。）

simple mind を用いた内容理解に関する指導プログラム

作成日：2月15日

1. 授業内容

e-pat を用いて教科書の音読の練習を行なったのちに，simple mind を用いて物語文の登場人物に関する内容をまとめる（発展3）

2. 目標

- ・ e-pat を用いて自分で音読の練習ができる
- ・ simple mind の基本的な使い方を学習し，文字の入力や新たな枝の付け方をできるようにする。

3. 使用教材・機材

- ・教材

国語の学習している単元

- ・機材

iPad (e-Pat, simple mind)

4. 内容

- ・作成した simple mind を元に内容の説明を行う。
- ・ e-pat で音読の練習を行う
- ・ split view の使い方を確認する。(simple mind と UD ブラウザ)
- ・ simple mind を用いて登場人物間の関係を結ぶ。
- ・まとめた内容を説明することができるようにする。

5. 内容例（12月7日実施）

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 3分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】 ・学習している単元の確認をする。 【教材】 e-pat	・本時の内容を視覚的（聴覚的）に示す。
2 5分	【内容】 Simple Mind でまとめた内容の説明 ・本時までにまとめた Simple Mind の内容をもとに説明を行う。	【方法・手段】 ・本時までにまとめた Simple Mind の内容をもとに説明を行う。	・まとめた内容に不足がある場合や追加する必要がある項目がある場合は質問する形で追記するように促す。
3	【内容】	【方法・手段】	・作業する方のアプ

5分	<p>・ split view の使い方を確認する。</p> <p>・ Simple Mind でまとめる次のまとまりの音声を e-pat で追いかけるように本文を音読する。</p>	<p>・ 一画面に二つのアプリを起動する方法である split view の使い方を確認する。</p> <p>・ 音読しているときの様子を見て読み上げの速さの設定方法などを適宜確認する。(設定した場合は、一度試すように声を掛ける。)</p> <p>【教材】 e-pat, simple mind</p>	<p>リ (この授業では simple mind) を利き手側に持っていくと作業しやすいことを伝える。</p>
4 7分	<p>【内容】</p> <p>・ e-Pat を使って音読した内容を Simple Mind にまとめる。</p>	<p>【方法・手段】</p> <p>・ 音読した部分について内容を Simple Mind にまとめる。</p> <p>【教材】 e-pat, simple mind</p>	<p>・ 内容をまとめる際は担任の先生と一緒に内容を確認しながらまとめる。</p>
4 5分	<p>【内容】</p> <p>・ まとめた内容を元に説明をする。</p>	<p>【内容】</p> <p>・ simplemind の内容をもとに内容を説明する。</p> <p>【教材】 e-pat, simple mind</p>	<p>・ 不足がある場合は、質問をし、再度 simplemind を見るように促す。</p>

simple mind を用いた内容理解に関する指導プログラム

作成日：2月15日

1. 授業内容

e-pat を用いて教科書の音読の練習を行なったのちに，simple mind を用いて物語文の登場人物に関する内容をまとめる（発展4）

2. 目標

- ・ e-pat を用いて自分で音読の練習ができる。
- ・ simple mind の基本的な使い方を学習し，文字の入力や新たな枝の付け方をできるようにする。

3. 使用教材・機材

- ・ 教材

国語の学習している単元

- ・ 機材

iPad (e-Pat, simple mind)

4. 内容

- ・ 作成した simple mind を元に内容の説明を行う。
- ・ e-pat で音読の練習を行う
- ・ split view の使い方を確認する。(simple mind と UD ブラウザ)
- ・ simple mind を用いて登場人物間の関係を結ぶ。
- ・ まとめた内容を説明することができるようにする。

5. 内容例（12月7日実施）

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 3分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】 ・ 学習している単元の確認をする。 【教材】 e-pat	・ 本時の内容を視覚的（聴覚的）に示す。
2 12分	【内容】 Simple Mind をまとめるために e-Pat の音声を聞いて内容を理解する。 ・ 聞いた音声を元に Simple Mind に登場人物の説明などを加	【方法・手段】 ・ Simple Mind に本文の内容をまとめる。 ・ Simple Mind に記入する際は、キーボードの入力のほかに、本文からのコピーアンドペーストの方	・ e-Pat の音声を聞く部分を焦点化するために「～は何をしたのか聞いてみようか」といった聞き方をして次の音声を聞くように促す。

	<p>える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入した内容を他の枝に繋ぎかえる方法を確認する。 ・遠隔指導者が内容について質問をする。 	<p>法も用いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繋ぎかえたいものを繋ぎたいものに重ねることで枝を繋ぎかえることができる。 ・質問された内容について口頭で答えたのちに Simple Mind に追記する。 <p>【教材】 e-pat、Simple Mind</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再生している音声を止める箇所を意識するように促す。 ・質問の内容がわからない場合は再度音声を聞くように促す。
2 5分	<p>【内容】 Simple Mind でまとめた内容の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時までにまとめた Simple Mind の内容をもとに説明を行う。 	<p>【方法・手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時までにまとめた Simple Mind の内容をもとに説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめた内容に不足がある場合や追加する必要がある項目がある場合は質問する形で追記するように促す。

内容のまとめ方に関する指導プログラム

作成日：11月11日

1. 授業内容

国語の文章の内容をまとめる際に Simple Mind というアプリを活用して内容を視覚的にまとめる活動を行う。

2. 目標

文章の内容を視覚的に整理することで理解を高める。

3. 使用教材・機材

・教材

国語の授業で扱っている単元

・機材

iPad (e-Pat, simplemind)

4. 内容

・音読の練習（前時の確認）

→読み直しの方法の確認

・SplitView の確認

・SimpleMind の立ち上げ

・SimpleMind での入力方法の確認

・登場人物の整理

5. 内容例

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 3分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】	
2 5分	【内容】 ・e-Pat を用いた音読の方法を確認する。	【方法・手段】 ・e-Pat を用いて3分間音読を行う。 ・3分間の音読が終わった後に読みづらい部分の読み直し方を確認する。	・e-Pat の読み上げ方に間違いがある場合は、適宜確認をする。
3 3分	【内容】 ・SplitView の確認 ・Simple Mind の立	【方法・手段】 ・SplitView を用いて UD ブラウザと Simple Mind	・Split View がうまくできない場合、UD ブラウザの上に

	ち上げ	を同時に閲覧することのできる方法を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> UD ブラウザを開いた状態で Dock に入っている Simple Mind のアイコンを画面の右側(左側)に持っていくことで、2つのアプリを同時に見ることができるようになる。 	Simple Mind が乗った状態になるので、画面の様子に注意して適宜声かけを行う。 <ul style="list-style-type: none"> Simple Mind を開いた時に、新しいシートになっていない場合は、新しいシートの作り方を説明する。
4 6分	【内容】 <ul style="list-style-type: none"> Simple Mind を用いて登場人物の整理を行う。 	【内容】 <ul style="list-style-type: none"> e-Pat を用いて読み上げさせた上で内容の確認を行う。 タイトルを確認する。 登場人物を確認し、Simple Mind に追加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物を意識しながら音声を聞くように伝える。
5 3分	【内容】 <ul style="list-style-type: none"> まとめと次回の内容の確認 	【内容】 <ul style="list-style-type: none"> 本時で学んだ内容を普段の学習でも活用するように伝える。 	

simple mind の使用方法（基本操作）に関する指導プログラム（案）

作成日：12月1日

1. 授業内容

e-pat を用いて教科書の音読の練習を行なったのちに，simple mind を用いて物語文の登場人物に関する内容をまとめる（発展1）

2. 目標

- ・ e-pat を用いて自分で音読の練習ができる
- ・ simple mind の基本的な使い方を学習し，文字の入力や新たな枝の付け方をできるようにする。

3. 使用教材・機材

- ・ 教材

国語の学習している単元

- ・ 機材

iPad (e-Pat, simple mind)

4. 内容

- ・ e-pat で音読の練習を行う
- ・ split view の使い方を確認する。（simple mind と UD ブラウザ）
- ・ simple mind を用いて登場人物間の関係を結ぶ。
- ・ まとめた内容を説明することができるようにする。

5. 内容例（11月10日実施）

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 3分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】 ・ 学習している単元の確認をする。 【教材】 e-pat	・ 本時の内容を視覚的（聴覚的）に示す。
2 5分	【内容】 e-pat の使い方の確認 ・ e-pat の音声を追いかけるように本文を音読する。	【方法・手段】 ・ 3分間時間を設定して音読の練習を行う。 ・ 音読しているときの様子を見て読み上げの速さの設定方法などを適宜確認する。（設定した場合は，一度試すように声を掛ける。）	・ 時間の目安がわかるように画面にタイマーを表示する。

3 2分	【内容】 ・ split view の使い方を確認する。	【方法・手段】 ・ 一画面に二つのアプリを起動する方法である split view の使い方を確認する。	・ 作業する方のアプリ（この授業では simple mind）を利き手側に持っていくと作業しやすいことを使える。
4 8分	【内容】 ・ 指導者が simplemind に用意した質問を追加し、その答えを本文中から探して答える。	【内容】 ・ 指導者が simplemind に用意した質問を追加し、その答えを本文中から探して答える。 【教材】 e-pat, simple mind	・ わからなくなった場合は何回本文を音声で読み上げさせても良いことを伝える。
5	【内容】 ・ まとめた内容を元に説明をする。	【内容】 ・ simplemind の内容をもとに内容を説明する。 【教材】 e-pat, simple mind	・ 不足がある場合は、質問をし、再度 simplemind を見るように促す。

simple mind を用いた内容理解に関する指導プログラム

作成日：2月25日

1. 授業内容

simple mind を用いて文章の内容を整理する。

2. 目標

・ simple mind を用いて文章の内容を視覚的に理解する。

3. 使用教材・機材

・教材

国語の学習している単元

・機材

iPad (e-Pat, simplemind)

4. 内容

・前時でまとめた内容を説明することができるようにする。

・ simple mind を用いて文章の内容を整理する。

5. 内容例 (12月7日実施)

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 2分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】 【教材】	・
2 12分	【内容】 ・ e-Pat で音声の読み上げを行い文章の内容を確認する。 ・ 指導者が質問を行い, simple mind に枝をつける。	【方法・手段】 ・ 内容を整理するために注意して聞く必要がある部分を提示して e-Pat の読み上げを行うように促す。 ・ e-Pat で音声読み上げを行い適宜停止しながら simple mind に枝をつける。 ・ 対面の指導者が枝をつ	・ 初めに simple mind への入力方法 (自分でキーボード入力 or 対面での指導者が入力) を確認する。 ・ 次に読み上げさせる箇所を示しどこを読むべきかを明確にする。 ※枝が付けられな

		<p>けた際につけた枝が正しいか確認を行う。</p> <p>【教材】 e-pat、Simple Mind</p>	<p>い様子が見られる場合は、対面の指導者が見本を見せた上で活動に取り組む。</p> <p>※読み上げの停止箇所がわからない様子が見られる場合は、初めに止める箇所を指定してから活動に取り組む</p>
2 2分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】	

simple mind を用いた内容理解に関する指導プログラム

作成日：2月25日

1. 授業内容

- ・ simple mind を用いて文章の内容を整理する。
- ・ 作成した Simple mind を印刷する。

2. 目標

- ・ simple mind を用いて文章の内容を視覚的に理解する。

3. 使用教材・機材

- ・ 教材

国語の学習している単元

- ・ 機材

iPad (e-Pat, simple mind)

4. 内容

- ・ 前時でまとめた内容を説明することができるようにする。
- ・ simple mind を用いて文章の内容を整理する。
- ・ 作成した simple mind を GoodNotes に貼り付けて印刷する。

5. 内容例

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 2分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】 【教材】	・
2 7分	【内容】 ・ e-Pat で音声の読み上げを行い文章の内容を確認する。 ・ 指導者が質問を行い, simple mind に枝をつける。	【方法・手段】 ・ 内容を整理するために注意して聞く必要がある部分を提示して e-Pat の読み上げを行うように促す。 ・ e-Pat で音声読み上げを行い適宜停止しながら simple mind に枝をつける。	・ 初めに simple mind への入力方法（自分でキーボード入力 or 対面での指導者が入力）を確認する。 ・ 次に読み上げさせる箇所を示しどこを読むべきかを明確にする。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 対面の指導者が枝をつけた際につけた枝が正しいか確認を行う。 <p>【教材】 e-pat、Simple Mind</p>	<p>※枝が付けられない様子が見られる場合は、対面の指導者が見本を見せた上で活動に取り組む。</p> <p>※読み上げの停止箇所がわからない様子が見られる場合は、初めに止める箇所を指定してから活動に取り組む</p>
2 5分	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成した Simple Mind を印刷する。 	<p>【方法・手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成した Simple Mind をスクリーンショットする。 <p>GoodNotes にスクリーンショットを貼り付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「写真ボタン」 → 「カメラボタン」  <ul style="list-style-type: none"> ・ 撮影したスクリーンショットを選択する。  <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象のページを印刷する。 ※印刷方法はプログラム 23 を参照 	
3	【内容】	【方法・手段】	

別添資料 25

2分	あいさつ		
----	------	--	--

simple mind の使用方法（基本操作）に関する指導プログラム

作成日：12月1日

1. 授業内容

e-pat を用いて教科書の音読の練習を行なったのちに， simple mind を用いて物語文の登場人物に関する内容をまとめる（導入）

2. 目標

- ・ e-pat を用いて自分で音読の練習ができる
- ・ simple mind の基本的な使い方を学習し， 文字の入力や新たな枝の付け方をできるようにする。

3. 使用教材・機材

- ・教材

国語の学習している単元

- ・機材

iPad (e-Pat, simplemind)

4. 内容

- ・ e-pat で音読の練習を行う
- ・ split view の使い方を確認する。（simple mind と UD ブラウザ）
- ・ simple mind を用いて段落の内容の整理を行う。

5. 内容例（11月10日実施）

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 3分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】 ・学習している単元の確認をする。 【教材】 e-pat	・本時の内容を視覚的に示す。
2 5分	【内容】 e-pat の使い方の確認 ・ e-pat の音声を追いかけるように本文を音読する。	【方法・手段】 ・ 3 分間時間を設定して音読の練習を行う。 ・ 音読しているときの様子を見て読み上げの速さの設定方法などを適宜確認する。（設定した場合は，一度試すように声を掛ける。）	・時間の目安がわかるように画面にタイマーを表示する。
3	【内容】	【方法・手段】	・作業する方のアプ

2分	<ul style="list-style-type: none"> ・ split view の使い方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一画面に二つのアプリを起動する方法である split view の使い方を確認する。 	<p>リ（この授業では simple mind）を利き手側に持っていくと作業しやすいことを使える。</p>
4 10分	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Simple mind にタイトルを入力する。 <p>↓</p> <p>※時間がある場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ simple mind を使用して登場人物の情報を中心にまとめる。 	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初めに、タイトルを入力する。 <p>※時間がある場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ e-pat で音声を聞いて登場人物に誰がいるのかを確認する。 ・ 登場人物をタイトルから線を出して追加する。 ・ 登場人物に関する情報をそれぞれの登場人物から線を出して追加する。 <p>【教材】</p> <p>e-pat, simple mind</p>	<p>※時間がある場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容を確認する際は、適宜 e-pat で音声を聞くように促す（わからない部分があったら自分から音声を再生できるように促すような声かけを行う。）

ノートの取り方に関する指導プログラム

作成日：2月9日

1. 授業内容

GoodNotes を用いてノートを取る際に、ノートを整理する方法、写真を撮る方法を身につける。

ノートに書いた読めない漢字の読み方を確認する方法を身につける。

2. 目標

- ・ GoodNotes を用いて授業の振り返りとして活用することのできるノートを作成する。
- ・ アクセシビリティの「読み上げ項目」の設定を行い、読めない漢字を音声により読み方を確認できるようになる。
- ・ 読み上げにより確認した漢字の読み方にふりがなを振る。

3. 使用教材・機材

- ・ 教材

普段の授業の際に撮影した黒板、授業の様子の写真

- ・ 機材

iPad (GoodNotes5)、ワイヤレススピーカーフォン (児童と指導者の音声の入出力用)、スピーカー・ステレオミニプラグ⇄ステレオミニプラグ (e-Pat の音声出力用)、PC、HDMI キャプチャーボード、HDMI ケーブル

4. 内容

- ・ 書いたノートを共有 (提出) する方法を身につける (AirDrop)
- ・ 撮影した黒板の写真を読んで読めない、読みづらい漢字を確認し、ふりがなを振る。
- ・ GoodNotes の拡大機能を利用して拡大した状態で文字を書く方法を身につける。
- ・

5. 内容例

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 3 分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】	
2 5分	【内容】 読み方を忘れてしまった漢字の読み方を	【方法・手段】 「設定アプリ」のアクセシビリティから「読み上げ」項目に入り「選択項目の読	・ GoodNotes の読み上げを行う際に、「選択項目の読み上げ」がオンになっていることを確認する。

	<p>確認する方法を身につける。</p>	<p>「読み上げ」をオンにする。</p> 	
<p>3 5 分</p>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み上げ機能を活用して読み方の確認を行う。 ・読めない漢字のふりがなをふる。 	<p>【方法・手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み上げ機能を活用して読めない漢字の読み方を音声で確認する。 ・音声で確認した際に読み方を忘れないようにするために漢字の後ろに () をつけて読み方を記入する。 例：海外 (かいがい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入力する際は必要に応じて適宜音声フィードバック機能をオンにする。 
<p>4 2 分</p>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の日程を確認する。 ・次回まで本時で扱った内容を授業で実践してみるように促す。 	<p>【内容】</p>	

※特記事項

キーボード入力により学習している児童の例

ノートの取り方に関する指導プログラム

作成日：2月25日

1. 授業内容

メモアプリにキーボード入力を行う方法を身につける。

2. 目標

・写真に書かれている文章をキーボード入力で正しく漢字仮名交じり文で入力することができる。

3. 使用教材・機材

・教材

・機材

iPad (GoodNotes5)

4. 内容

・メモアプリを使用してキーボード入力で正しく漢字変換を行う。

5. 内容例

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 2分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】	
2 3分	【内容】 ・メモアプリとGood NotesをSplit Viewで開く。 ・Split Viewの方法を確認する。	【方法・手段】 ・あらかじめメモアプリを起動しメモアプリ入力したい文章が写真で貼り付けられているGood NotesをSplit Viewで起動する。 ※Split Viewに関する指導方法はプログラム03を参照	※写真アプリに入力したい文章の写真が入っている場合はメモアプリに直接貼り付けを行う。
3 9分	【内容】 ・文章をキーボードで入力する。	【方法・手段】 ・メモアプリで写真に書かれている文章をキーボードで入力する。 ・読めない漢字がある場合は	・文節ごとに変換と確定を行うように促す。 ・わからない漢字

		<p>中国語繁体手書きキーボードを用いて入力を行う。</p> 	<p>は手書き入力を行い読み方を調べるように促す。</p>
<p>4 1分</p>	<p>【内容】 あいさつ</p>	<p>【方法・手段】</p>	

※特記事項

キーボード入力により学習している児童の例

漢字の読み方調べに関する指導プログラム

作成日：3月2日

1. 授業内容

GoodNotes に貼り付けてある黒板の写真の漢字の読み方を手書き機能を用いて調べる。

2. 目標

・写真で撮影した板書の読めない漢字を手書き機能を用いて調べる方法を身につける。

3. 使用教材・機材

・教材

授業中に撮影した板書

・機材

iPad (GoodNotes5, 新・筆順辞典)

4. 内容

・板書の写真をもとにわかったことについてキーボード入力を用いてまとめを行う。

5. 内容例

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 2分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】	
2 3分	【内容】 ・授業のノートに 記入されている内 容の確認	【方法・手段】 ・授業の目当て、日付を記入 できているかを確認する。 ・授業の内容を確認する。 ・板書されている漢字の読み 方を質問する。	・記入できていな い場合には日付や 目当てを授業中に 記入するように促 す。
3 9分	【内容】 ・板書の写真の中 の読めない文字を 辞書アプリを用い て調べる方法を身	【方法・手段】 新・筆順辞典を使用する。 	・アプリに漢字が 認識されない場合 は指導者が見本を 紙などに書いて写

漢字の読み方調べに関する指導プログラム（案）

作成日：3月2日

1. 授業内容

GoodNotes に貼り付けてある黒板の写真の漢字の読み方を手書き機能を用いて調べる。

2. 目標

・写真で撮影した板書の読めない漢字を手書き機能を用いて調べる方法を身につける。

3. 使用教材・機材

・教材

授業中に撮影した板書

・機材

iPad (GoodNotes5)

4. 内容

・板書の写真をもとにわかったことについてキーボード入力を用いてまとめを行う。

5. 内容例

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 2分	【内容】 あいさつ	【方法・手段】	
2 3分	【内容】 ・授業のノートに 記入されている内 容の確認	【方法・手段】 ・授業の目当て，日付を記入 できているかを確認する。 ・授業の内容を確認する。 ・板書されている漢字の読み 方を質問する。	・記入できていな い場合には日付や 目当てを授業中に 記入するように促 す。
3 9分	【内容】 ・板書の写真の中 の読めない文字を 辞書アプリを用い て調べる方法を身	【方法・手段】 ・手書きキーボードを使用で きるようにする。 設定方法 「設定」アプリ→「一般」→	

	<p>につける。</p> <p>・漢字のふりがなを板書の写真に書き込む。</p>	<p>「キーボード」→「キーボード」→「新しいキーボードを追加」→「繁体中国語」→「手書き」の順で設定。</p> <p>・メモアプリを立ち上げて追加したキーボードで手書き入力をする。</p> <p>・入力した文字を範囲選択して「調べる」をタップする。</p> <p>・読み方を確認して板書の写真にふりがなを振る。</p>	<p>・アプリに漢字が認識されない場合は指導者が見本を紙などに書いて写すように促す。</p>
<p>4 1分</p>	<p>【内容】 あいさつ</p>	<p>【方法・手段】</p>	

日記に関する指導プログラム

作成日：4月27日

1. 授業内容

- ・写真を用いて日記を作成する。

2. 目標

- ・授業の内容について写真を用いて日記にまとめる。
- ・日記を書く習慣を身につけ、作文を継続的に行うことができる。

3. 使用教材・機材

- ・教材

アプリ「えにつき」、授業に関する写真

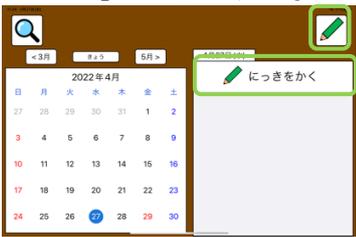
- ・機材

iPad（えにつき）

4. 内容

- ・授業の内容について写真を用いて日記にまとめる。

5. 内容例（授業後半 10 分間）

活動	内容とねらい	方法・手段・教材	指導上の配慮事項
1 10分	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容をもとに写真を貼り付けた日記を作成する。 	<p>【方法・手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鉛筆マーク or につきをかく」を選択する。  <ul style="list-style-type: none"> ・タイトルを入力する。 ・画面左側の枠をタップして写真を挿入する。 ・画面右側の枠をタップして本文を入力する。 <p>・音声読み上げを行う際</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜文字の大きさを見やすいように変更することを促す。

		<p>は、「よみあげ」ボタンをタップする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き終わったら「かんせい」ボタンをタップする。  <p>【教材】 アプリ「えにっき」</p>	
<p>3 2分</p>	<p>【内容】 あいさつ</p>	<p>【方法・手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の授業まで家庭であったことなどについて日記を作成するように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日記に書く内容がない様子であれば普段の食事などについて日記を作成するように促す。